



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

バハレーン：ハリーフア港とジュベール港との海路開拓 (5月27日付ワサト紙)

27日付アラビア語紙ワサトによれば、バハレーンの物流拠点であるハリーフア港の運営会社の APM ターミナルズが、サウジアラビア東部のジュベール港との海上物流路の開設に向けた作業を行っている。

1. APM ターミナルズのマルコ・ネルソン CEO は、同社がバハレーンのハリーフア港とサウジアラビア東部の工業都市であるジュベールとを結ぶ海路の開設に向けた作業を行っていることを明らかにした。2013 年末までに開設を希望しており、これによって、コーズウェイにかかっている負担を緩和する。ネルソン CEO は、本件について、バハレーンの輸送会社および製造会社と協議を行っていると述べた。
2. バハレーンとサウジアラビアは、25 キロメートルのコーズウェイで繋がっているが、トラック渋滞が続いており、通過するのに1週間待たなければならない状態になっている。このため、輸送の遅延や貨物の損傷が発生しており、サウジアラビアおよび湾岸諸国への輸出ハブとしてバハレーンを利用している製造会社の多くは損失を訴えている。湾岸地域の産業センターに発展しつつあるジュベールとの海路が開設されれば、サウジアラビア東部との物流にかかる時間は大幅に短縮する。物流会社が使っている船舶のタイプによるが、1日以内、早ければ15時間での物流が可能になる。
3. コーズウェイを、1日当たり1,000台のトラックが通過しており、渋滞問題の根本的な解決を欠く場合、バハレーンを足場にGCC市場、特にサウジ市場を狙う外国企業の退出を招く可能性がある。ネルソン CEO は企業名を明らかにしなかったが、バハレーンに工場を有するドイツ企業の BASF は、海路開設に強い関心を持っているとされ、他の複数の企業もサービス開始を望んでいるとされる。